

# 家族で泊まろうin英彦山II

## ～合言葉は「鍛ほめ」～

○ ねらい

家族が協力して生活体験活動、自然体験活動を行うことを通して、家族の生活スキルを育むことで、家庭の教育力の向上に資する。

○ 期日

平成30年9月8日（土） ～ 9日（日）

○ 参加者

51名（14家族）

○ 具体的な活動（指令は、子どもたちが進んで活動できるように設定した活動目標です。）

1日目（9月8日）

### ランタン作り

指令:なるべく自分の力で作ろう!



当日は、あいにくの雨で予定していた稲刈りが出来ませんでした。代わりに牛乳パックを使ってランタン作りを行いました。子どもたちは進んでオリジナルのランタンを作ることができました。

### 昼食（郷土料理）

指令:家族の分の配膳をしよう!



待ちに待った昼食です。上津野地区の婦人部の方々に、上津野地区で採れた野菜や山菜を使った郷土料理を作って頂きました。おいしい昼食をいただいて、みなさんとても満足していました。

### 葉っぱのブローチ作り



英彦山青年の家に行き、葉っぱのブローチ作りをしました。子どもたちは、保護者の方に手伝ってもらいながら、おしゃれなブローチを作りました。

### 天狗からの挑戦状



天狗からの挑戦状は、花月少年が天狗に連れ去られたという添田町に残るお話を元にした活動です。館内に隠されている天狗のカードをヒントに、花月少年の居場所を見つけます。家族で課題を解決し、どの家族も花月少年を見つけ出すことが出来ました。

## 子どもたちが作るカレー

指令:自分の力で野菜を切り、カレーを作ろう!



夕食は、カレー作りをしました。活動中、子どもたちは作業に苦戦しながらも進んで野菜を切り、美味しいカレーを作ることができました。保護者の方もそのような子どもたちの姿に関心していました。

2日目 (9月9日)

## 英彦山スポーツ大会



カローリングとくじ引き卓球を行いました。カローリングでは、高得点を取るために、家族内で作戦会議をし、ゲームに挑戦していました。くじ引き卓球では、くじでラケットを選び、卓球の試合をしてもらいました。両競技とも参加者は熱中し、楽しく活動することが出来ました。

## うどん作り

指令:自分から進んでうどんを作ろう!



うどん作りでは、子どもたちが一生懸命に生地をこね、保護者の方も子どもたちと一緒に生地をこねました。出来上がりのうどんは、細い麺から太い麺と様々でしたが、自分たちで打った麺を美味しく食べていました。

## 活動のまとめ

英彦山青年の…

**Yeah~!!**



本事業を通して、子どもたちは保護者の方に頼ることなく、進んで活動に取り組むことが出来ました。そのような子どもたちの姿に保護者の方々は感心し、温かい様子で見守っていました。事業後の感想には、「子どもが進んで行動できるようになっていた。見守ることは成長につながると感じた。」「今回の事業を終え、これから子どもたちがお手伝いや料理など、自信を持って取り組んでくれると思う。」というのがあり、家庭の教育力向上の一助になれたのではないかと思います。参加家族の皆様には、今回の体験を今後の家庭生活にも生かして頂きたいと思っています。そして、私たちが今後さらに積極的に家族で生活・自然体験ができるプログラムを開発していきたいと思っています。